コロナ感染予防にかかわる協力をお願い⑪ ～感染者に歯止めがかからず、まん延防止の延長を要請～

第6波による感染者数は歯止めがかからず、御嵩町では1月5日から2月8日までに、160人が感染となり、学校での児童生徒の感染もあり、学級閉鎖等を余儀なくされる事例も多数生じています。

そんな中、岐阜・愛知・三重3県の知事は、2月13日(日)が期限の「まん延防止等重点措置」の延長を、足並みを揃えて要請しました。政府は3週間を軸に延長幅を調整しています。岐阜県知事は、「ここで対策を緩める状況ではない。引き続き対策を強化し、何としてもピークアウトを迎えたい。」と強調しています。

このような状況の中、小中学校は、学びを止めないという意識のもと、岐阜県教育委員会の更なる指導に基づき、学校運営の各場面における感染防止対策を更に徹底してまいります。保護者の皆様には、下記の内容について、再度ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

記

1 「ぎふコロナガード」による実施状況の確認と報告を

- 各学校で専任・設置されているコロナガードは、下記の「学校の感染防止対策」等の実施状況の確認・対策を更に徹底していきます。
- 各学校は、取組状況を御嵩町教育委員会へ随時報告し、全学校の情報を共有します。

学校の感染防止対策（一部 重点のみ記載）

- ①登校時に、健康チェックカードを活用し、検温結果及び健康状態を把握して対応します。
- ②給食時は、食事の前後の手洗いの徹底、配席の工夫、黙食の励行に留意します。
- ③寒気のため、窓を開けづらい時期ですが、気候上可能な限り常時換気に努めます。
- ④学校行事や校外学習、地域と連携した活動等は、中止又は延期します。
- ⑤中学校の部活動については、すべての活動を中止します。次につながる大会が2週間以内にある部活のみ限定して実施可とします。
- ⑥急な自宅待機の要請や登校に不安を感じる児童生徒に対する在宅でのオンライン学習支援を速やかに実施するよう取り組みます。

2 発熱、咳、鼻水、喉の痛み等風邪の症状があれば自宅での休養を

- 風邪の症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合は、自宅で休養して下さい。出席停止として取り扱います。
- 風邪の症状があれば、かかりつけ医等の身近な医療機関に直接電話相談し、対応して下さい。

3 基本的な感染防止対策(マスク、手指衛生、三密回避)の徹底継続を

- マスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底、三密の徹底回避をお願いします。

4 不要不急の往来の自粛を

- 県外はもとより、県内であっても不要不急の外出は自粛して下さい。

5 飲食時等での感染リスクの徹底回避を

- 食事は短時間で、家族との食事也十分留意を。普段会わない人や同僚との会食は自粛を。

6 毎日の健康状態の確認を

- 毎日の健康チェックの継続を。同居家族の体調も確認し、家族ぐるみで健康状態の確認・感染防止対策を徹底。

7 感染症対策を徹底した公共施設の利用を

- 現在、公共施設の利用は20時までとし、定員等の一定の制限を設ける等感染防止対策を徹底して開館していますが、今後の対応についても、ご理解とご協力をお願いします。

8 その他

- 休日等も含め、本人あるいは同居の家族等一定の接触がある方の陽性やPCR検査が決定した場合には、速やかに学校へ連絡してください。
- 誰がPCR検査を受けたかとか、誰が感染したかという噂話をしたり、詮索したりせず、たとえ感染しても、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せるよう、ご協力をお願いします。

(注) 今後の感染状況や国・県の対応方針によって、対応を変更することがあります。